

Gディフェンサー



ガンダムMk-II



Gフライヤー



リアビュー



FXA-05D/RX-178 'SUPER GUNDAM'

A.E.U.G. PROTOTYPE MOBILE SUIT+SUPPORTING FIGHTER

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : FXA-05D
 TOTAL LENGTH : 39.5m
 WING WIDTH : 27.1m
 WEIGHT : 24.7t
 TOTAL WEIGHT : 60.3t
 MATERIAL :
 GUNDALIUM ALLOY
 ARMAMENTS :
 MISSILE POD×2
 VULCAN×4
 LONG RIFLE

CORE FIGHTER
 TOTAL LENGTH : 11.1m
 WING WIDTH : 5.4m
 TOTAL WEIGHT : 20.4t
 TOTAL THRUST : 30800kg
 ARMAMENTS :
 MINI LASER CANNON×2



MODEL NUMBER : RX-178
 TOTAL HEIGHT : 18.5m
 WEIGHT : 33.4t
 TOTAL WEIGHT : 54.1t
 GENERATOR OUT PUT :
 1930kw
 MATERIAL :
 TITANIUM ALLOY AND
 CERAMICS COMPOSITE
 ARMAMENTS :
 BEAM RIFLE
 BEAM SABER
 HYPER BAZOOKA
 VULCAN POD
 SYSTEM

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたいかたは、下の基本色をご覧ください。
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
 ●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー(「スーパーガンダム」用、その他カラーセット)をお使いください。
 ●ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

- 本体等 :
 - ホワイト (95%)
 - +ブラック (5%)
 - +ミディアムブルー (少量)
 - ※または、ガンダムカラー ホワイト9
- 胸部等 :
 - コバルトブルー (50%)
 - +ブラック (40%)
 - +レッド (10%)
 - ※または、ガンダムカラー ブルー14
- つま先等 :
 - モンザレッド (100%)
- インテーク等 :
 - イエロー (60%)
 - +ホワイト (30%)
 - +オレンジ (10%)
- 関節等 :
 - ミディアムブルー (50%)
 - +ブラック (40%)
 - +ホワイト (10%)
 - ※または、ガンダムカラー グレー25
- バックパック等 :
 - ミッドナイトブルー (100%)
- センサー部 :
 - イエローグリーン (70%)
 - デイトナグリーン (30%)
- Gディフェンサー(フルー部) :
 - インディブルー (70%)
 - +コバルトブルー (30%)

1/144 SCALE
HG
 UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2002 MADE IN JAPAN

※写真の完成品は、塗装してあります。

0114207



警告 (けいこく)

保護者の方へ必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

【組み立てる時の注意】●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。●塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。●ABS部分への塗装は破壊する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

注意 (ちゅうい)

- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。
- 部品は番号を確かめ、きれいに切り取りましょう。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。



・接着をするところの線



・シールの番号



・デカールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・両側に同じパーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・ビスの締めすぎに注意



・切り取るところ



・部品を数値の個数作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます



・数値に合わせて回転させます



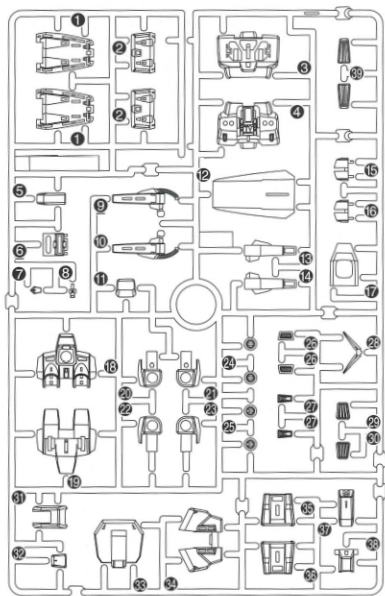
・どちらかを選んで取り付ける



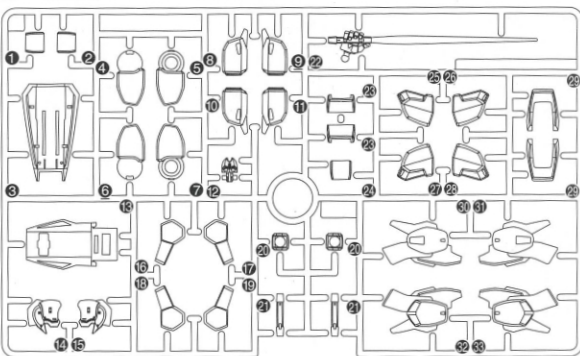
・反対側も同じように動かします

パーツリスト

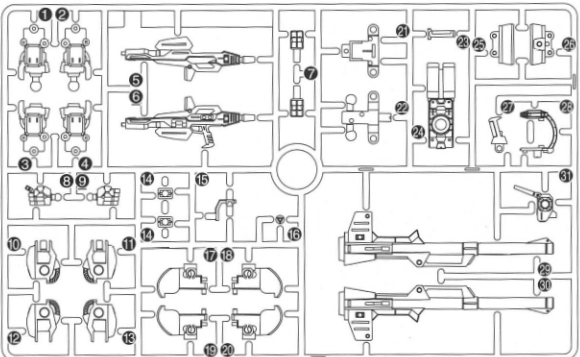
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



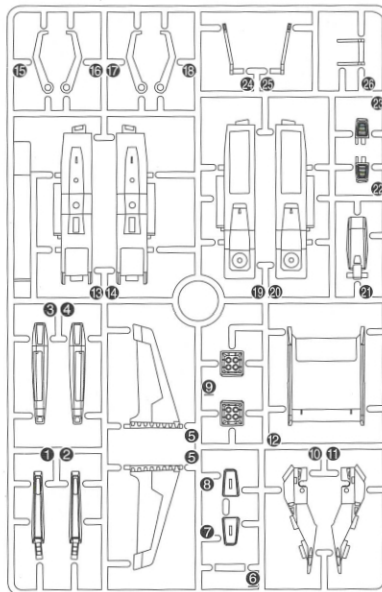
Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



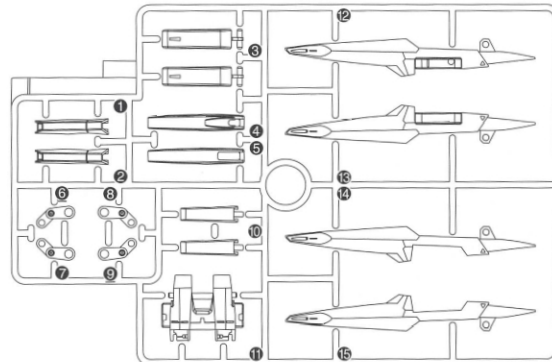
Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



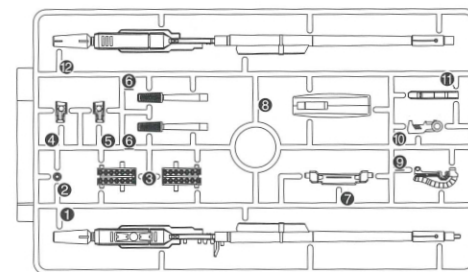
Dパーツ (スチロール樹脂: PS)



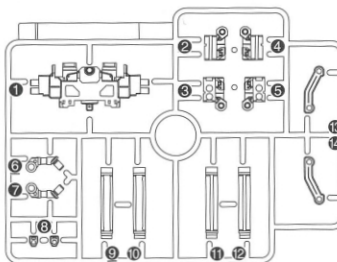
Eパーツ (スチロール樹脂: PS)



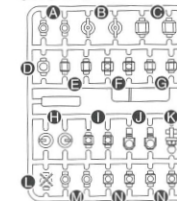
Fパーツ (スチロール樹脂: PS)



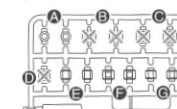
Gパーツ (ABS樹脂: ABS)



<P.C-123プラス>
(ポリエチレン: PE)



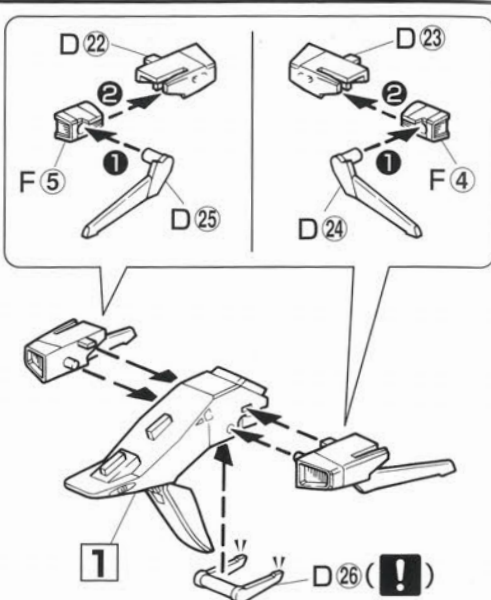
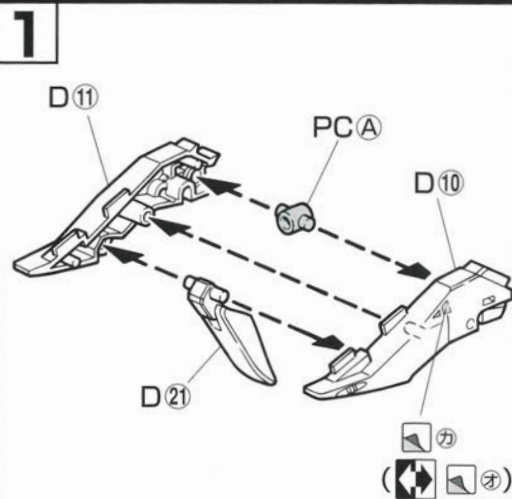
<P.C-123>
(ポリエチレン: PE)



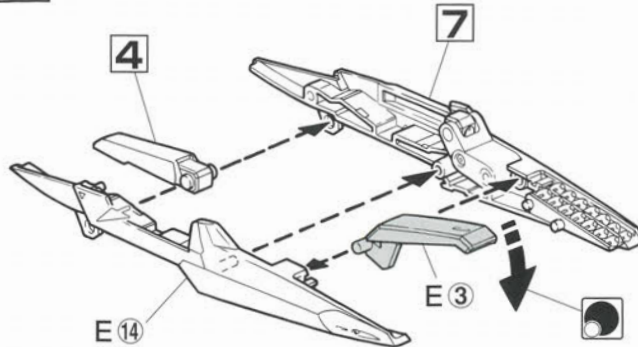
●シール.....1

Gディフェンサー

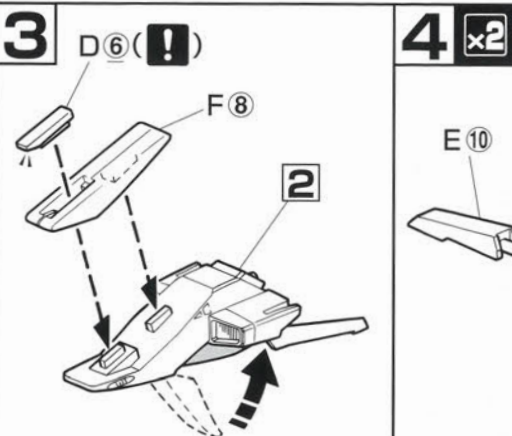
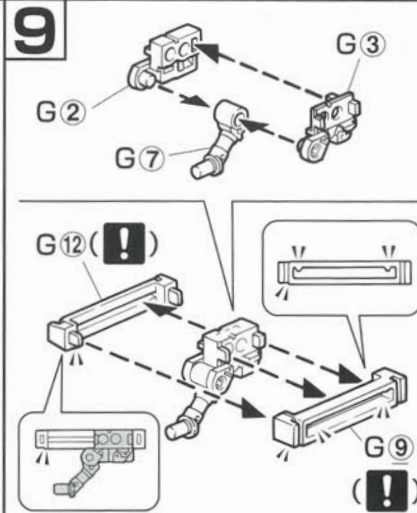
2



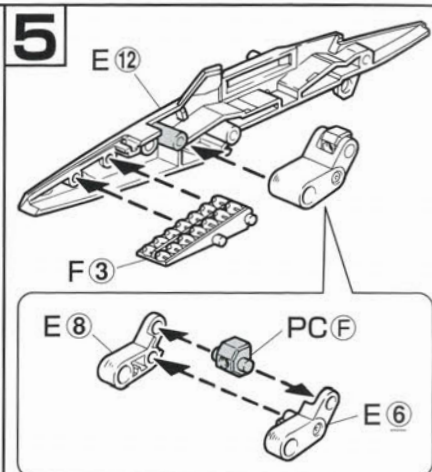
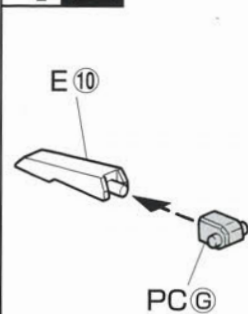
8



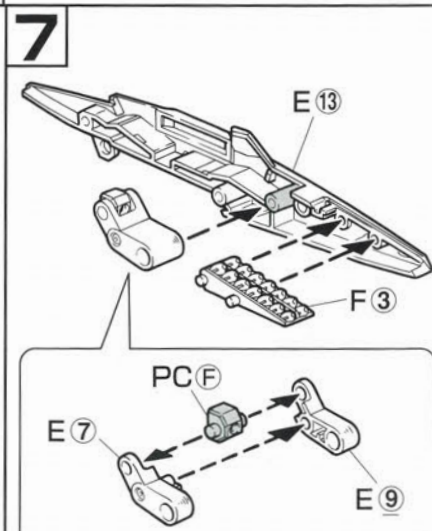
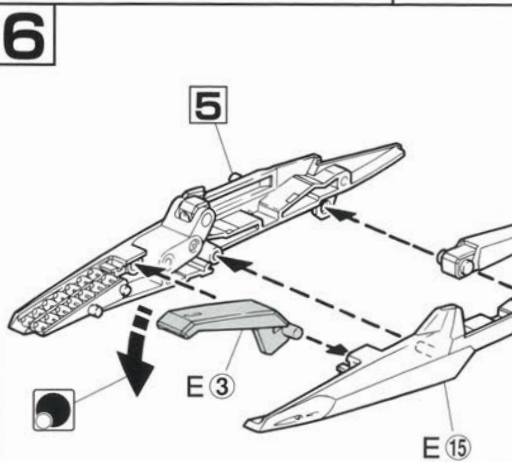
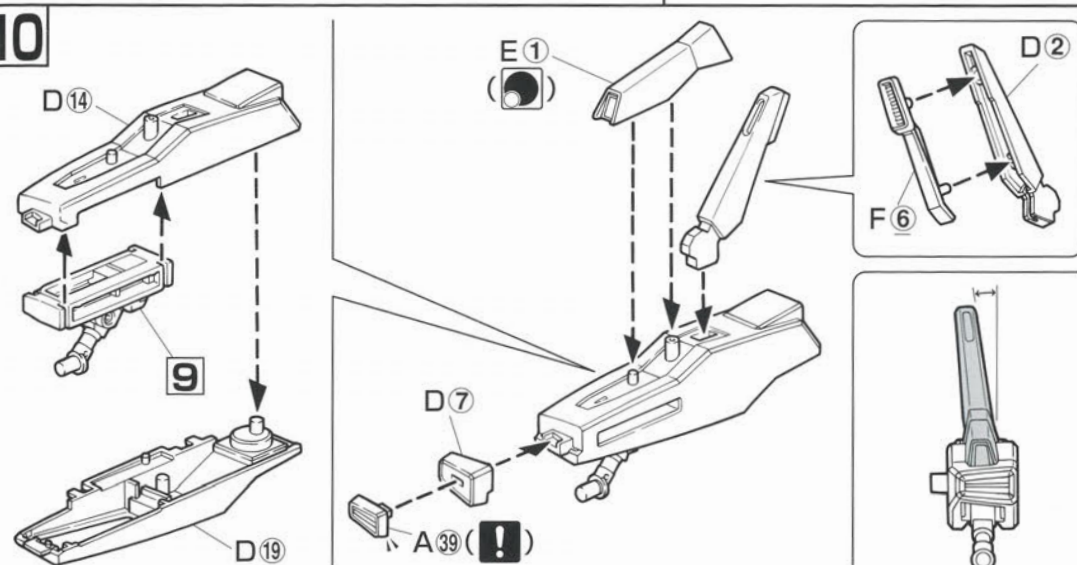
9



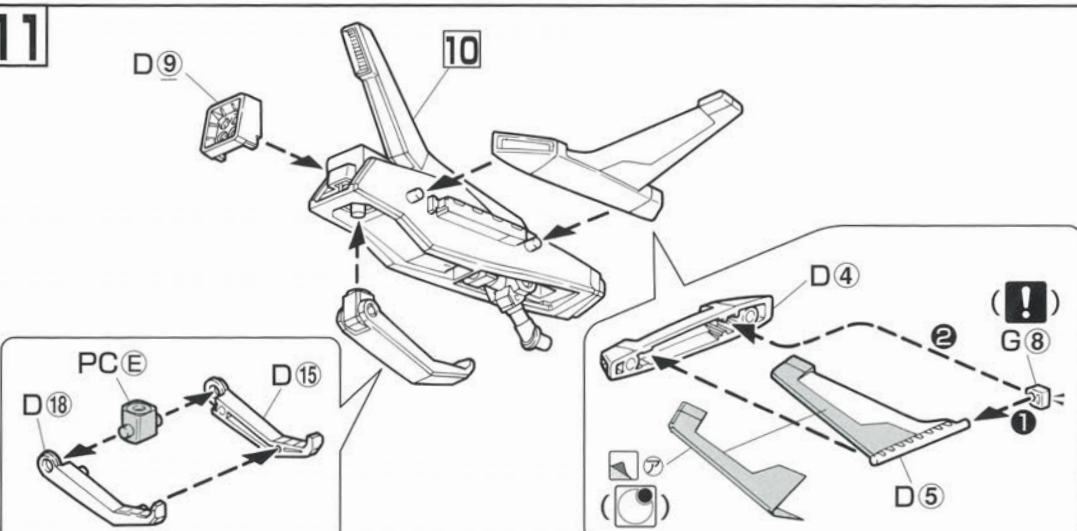
4

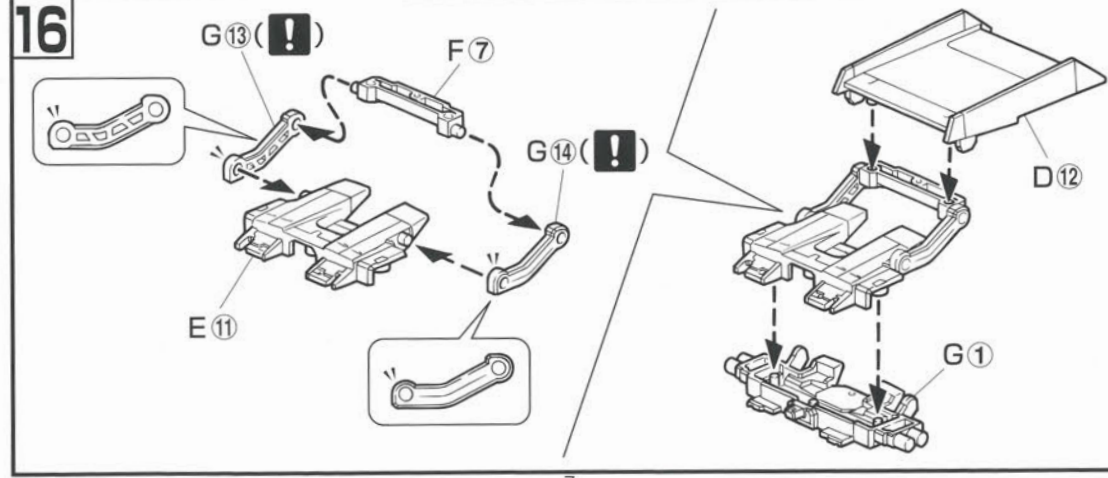
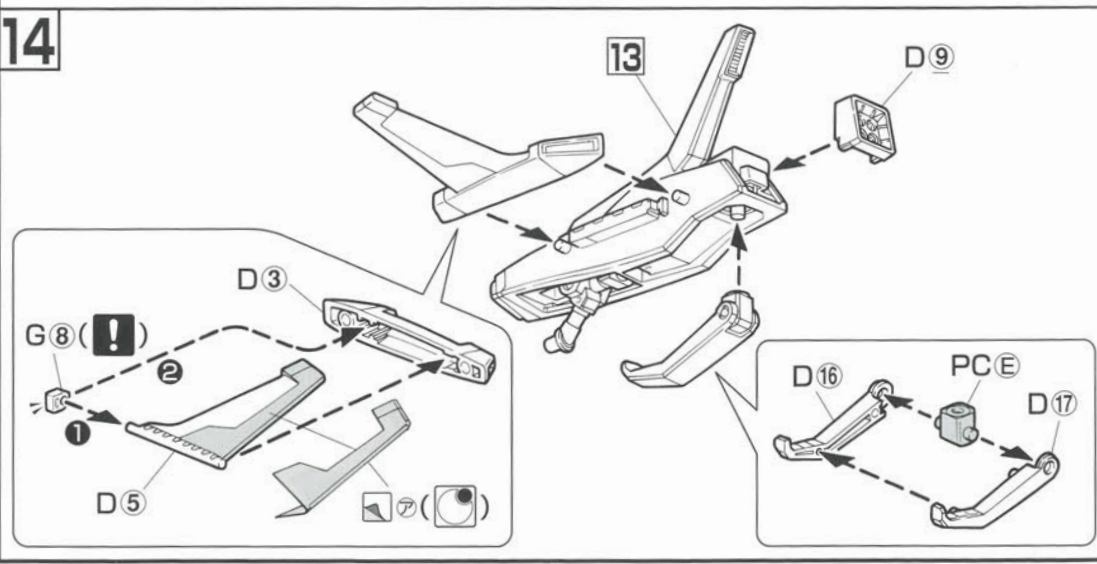
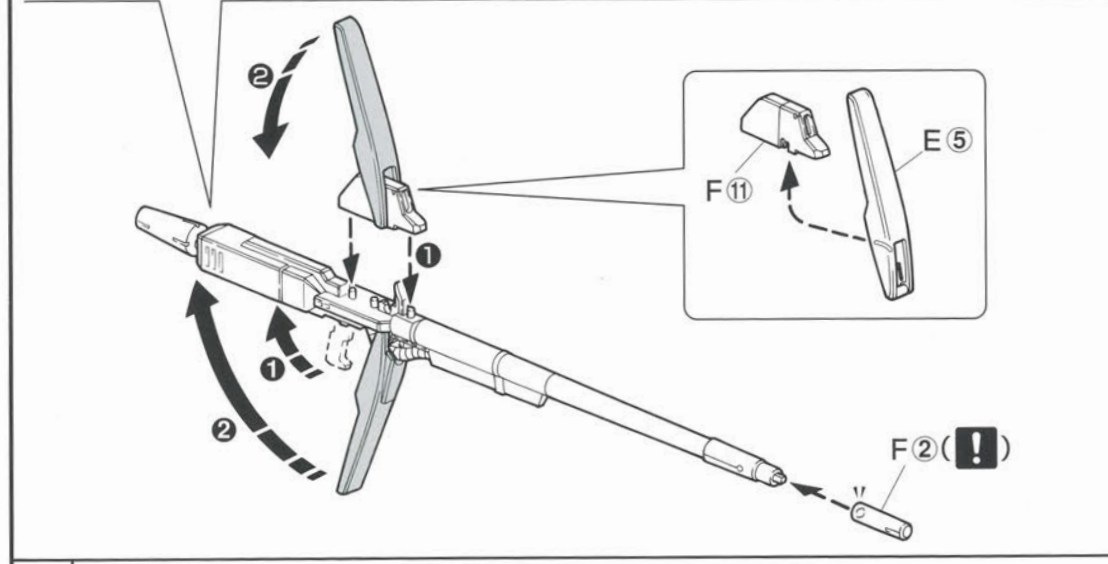
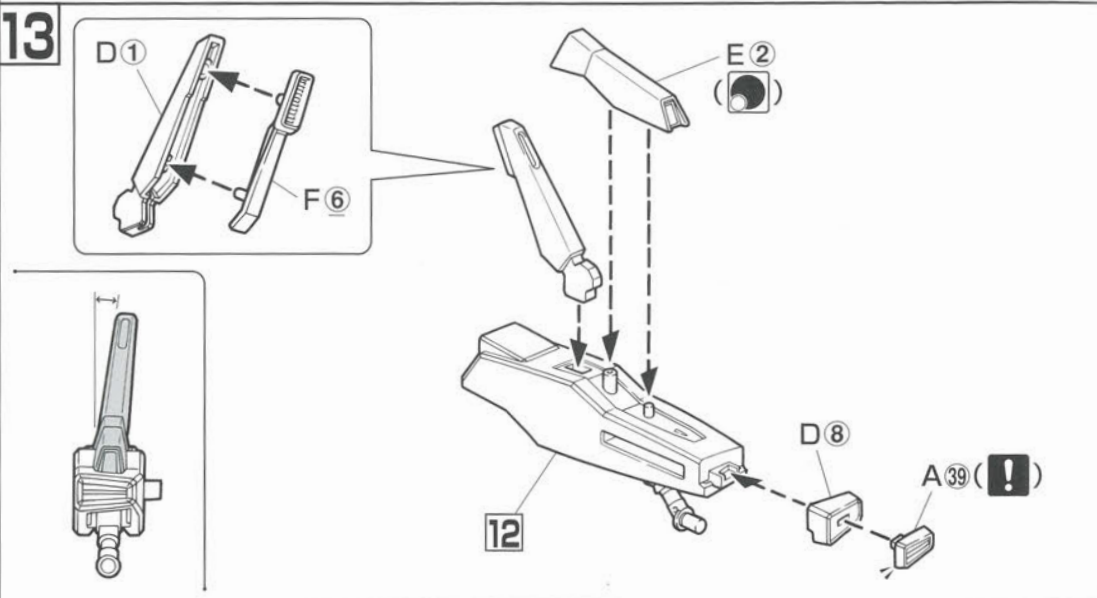
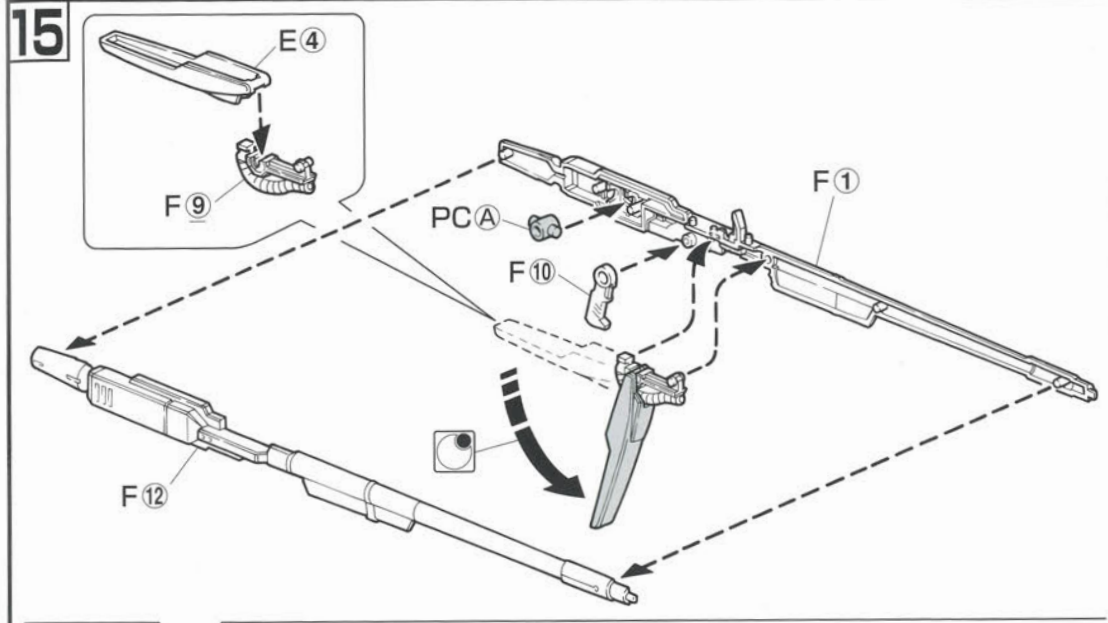
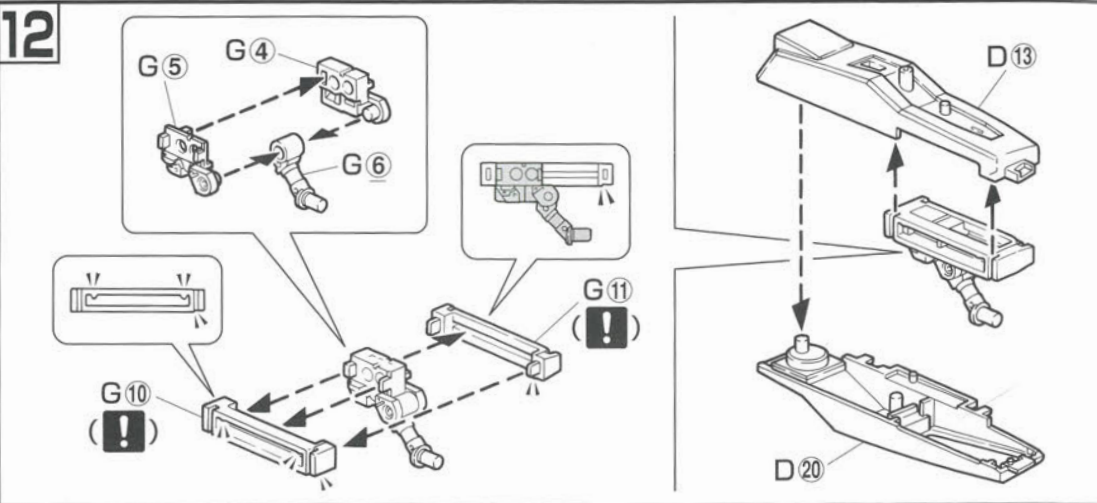


10



11





FXA-05D+RX-178 "SUPER GUNDAM"

「スーパーガンダム」とは単独の機体ではなく、Gディフェンサーからコックピットブロックを除いたアーマメントユニットを装着した状態のガンダム Mk-II (マークツー) のことを指す。U.C.0087年当時、「グリプス戦争」においてMSは驚異的な進化を遂げつつあった。TMS (トランスフォーマブルモビルスーツ=可変MS) の登場などにより、MSが単体で発揮する機動性や戦闘能力が飛躍的に向上していたのである。そんな中、エウゴの要請を受けたAE (アナハイム・エレクトロニクス) は、Mk-IIのサポートメカとして可変戦闘機「Gディフェンサー」を開発した。この機体は、一年戦争当時「ガンダム」の支援メカとして実戦に投入された「Gパーツ」のコンセプトを継承し、さらに発展させたものであると言える。Gディフェンサーは、Mk-IIの性能を飛躍的に向上させ、再び一線機として復活させるべく開発さ

れた専用オプションである。Mk-IIとドッキングすることで、その機動性と武装を強化する。また、機体を変形させてをホールドすることで、Mk-IIを高速で輸送することができる。この形態は「Gフライヤー」と呼ばれ、当時の可変MSに比肩し得る加速および巡航能力を發揮し、Mk-IIの行動領域のさらなる拡大を可能とする。またGディフェンサーのパイロットは、ドッキングの後、コントロールをMk-II側に移行させ、コックピットブロックを分離させて戦線を離脱することもできる。そして、機体を取り囲んでいたアーマメントユニットは変形、展開してフレキシブルなシールドとして、あるいはスタビライザーやバインダーといった補助AMBAC装置として機能する。かくしてガンダムMk-IIは、Gディフェンサーを「着たまま」MSモードでの戦闘が可能なる「スーパーガンダム」となり、当時の最新鋭MSにも決して引けを取らない高性能機に生まれ変わるのである。無論、Gディフェンサー単体での戦闘能力も充分に高いものであったことは言うまでもない。



バルカンポッド

シールド

ビーム・サーベル

ハイパー・バズーカ

ビーム・ライフル

SPEC

型式番号: RX-178
全高: 18.5m
本体重量: 33.4t
全備重量: 54.1t
ジェネレーター出力: 1930kw
装甲材質: チタン合金セラミックス複合体
武装: ビーム・ライフル
ビーム・サーベル
ハイパー・バズーカ
バルカンポッド

ガンダムMk-II



Gフライヤー

ガンダムMk-IIとGディフェンサーがドッキングした高速巡航形態。この場合Mk-IIはプロペラントを消費することなく戦線に到達できる。

SPEC

型式番号: FXA-05D
全長: 39.5m
翼幅: 27.1m
本体重量: 24.7t
全備重量: 60.3t
装甲材質: ガンダリウム合金
武装: 14連ミサイルポッド×2
大型バルカン×4
ロング・ライフル

ロング・ライフル

通常の状態でも高水準の破壊力を持つが、外部ケーブルでMSのパワーサーキットと連結することで、百式が運用するメガ・バズーカ・ランチャー並の大出力砲として運用することもできる。

SPEC

コア・ファイター
全長: 11.1m
翼幅: 5.4m
全備重量: 20.4t
総推力: 30800kg
武装: ミニレーザー砲×2



コア・ファイター

Gディフェンサーのコックピットユニットの俗称。標準的なMSと同等のポッドが内装されており、アーマメントユニットとの分離後は4基のスタビライザーが展開して機動性が向上する。脱出艇としては申し分ないが、武装は2門のミニレーザー砲のみという貧弱なもの。



ミサイル・ベイ

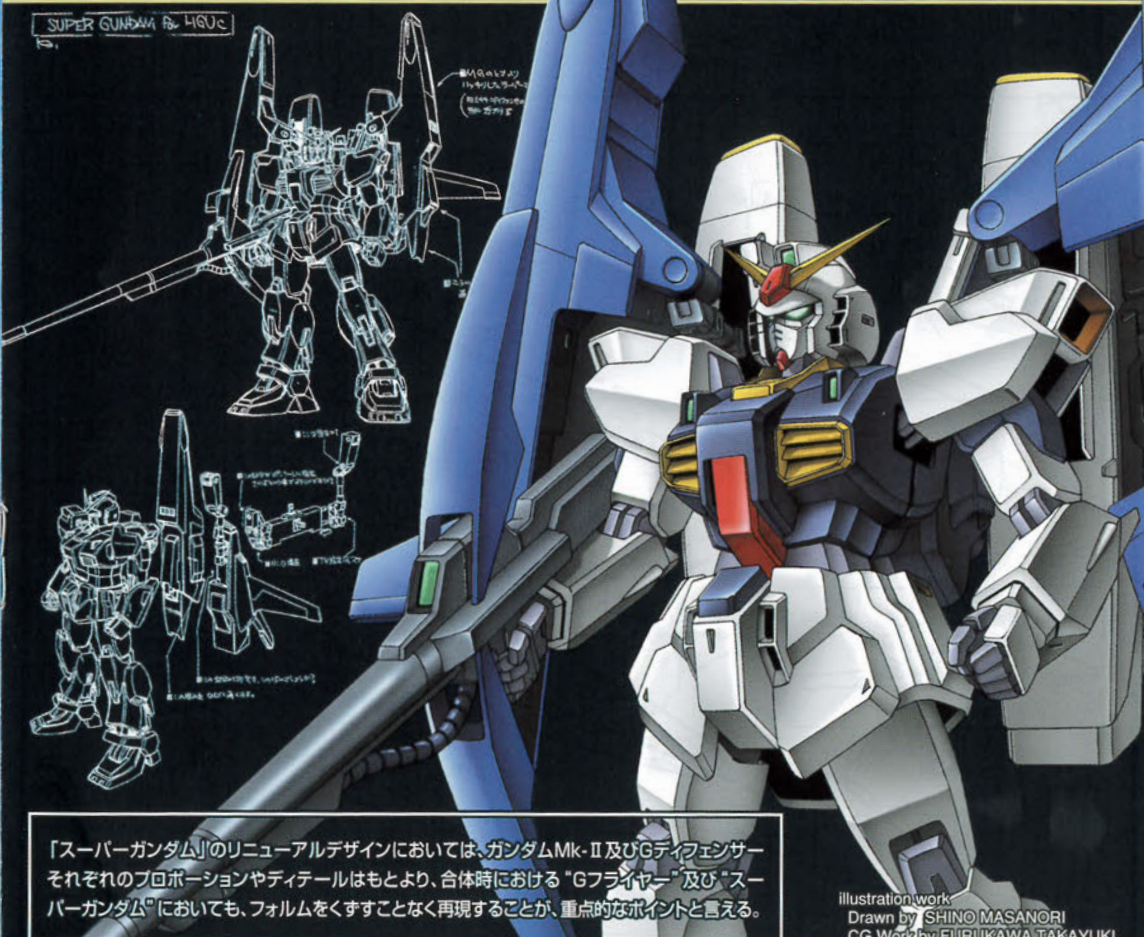
14基のミサイルを装備するほか、ユニット全体はアーマメントブロックとなっており、ロング・ライフルをドライブ可能なジェネレーターおよびプロペラントなどを搭載する。



FXA-05D+RX-178「スーパーガンダム」
「スーパーガンダム」とは、TVシリーズ「機動戦士Zガンダム」に登場する試作MS「ガンダムMk-II」と、その強化ユニット「Gディフェンサー」のアーマメントユニットがドッキングした状態のことである。Gディフェンサーは、ガンダムMk-IIの強化武装としてアーガマに配備され、その調整中にMk-IIのパイロットであるエマ・シーンの苦戦を見かねたカツコバヤシの独断によって初めて実戦に投入された。以後、カツがほぼ専任のパイロットとなり、戦闘の最前線であるアーガマやラーティッシュの作戦行動に随行。長、中距離支援や爆撃、偵察など、その機動性を駆使した任務において活躍した。GディフェンサーはMk-IIとの組み合わせによって高速巡航形態の「Gフライヤー」、あるいは「スーパーガンダム」となり、その威圧的なシルエットも相まって、再びエウゴの主力機として前線に復帰した。特に、ジェネレーターと直結するロング・ライフルの威力は当時でも屈指の破壊力を持ち、多くの戦果をあげている。それまでもMSの強化パーツや追加装甲などは数多く存在したが、Gディフェンサーのように自前可能な追加装備は稀有なコンセプトであり、ある意味で当時の情勢を象徴する機体であると言えるだろう。ただし、パイロット運用の観点から見た場合、少なからず不合理な側面があったことも否定できない。ちなみにGディフェンサー (FXA-05D) はFXA-03Aといういわゆるフルアーマー装備のプランなどと製作する形で設計が進められていたが、結局、単体でも戦闘機として運用できることがアドバンテージとなり採用されたようだ。また、「スーパーガンダム」という呼称はあくまでも愛称であり、正式な呼称は「Mk-IIディフェンサー」であるとされている。

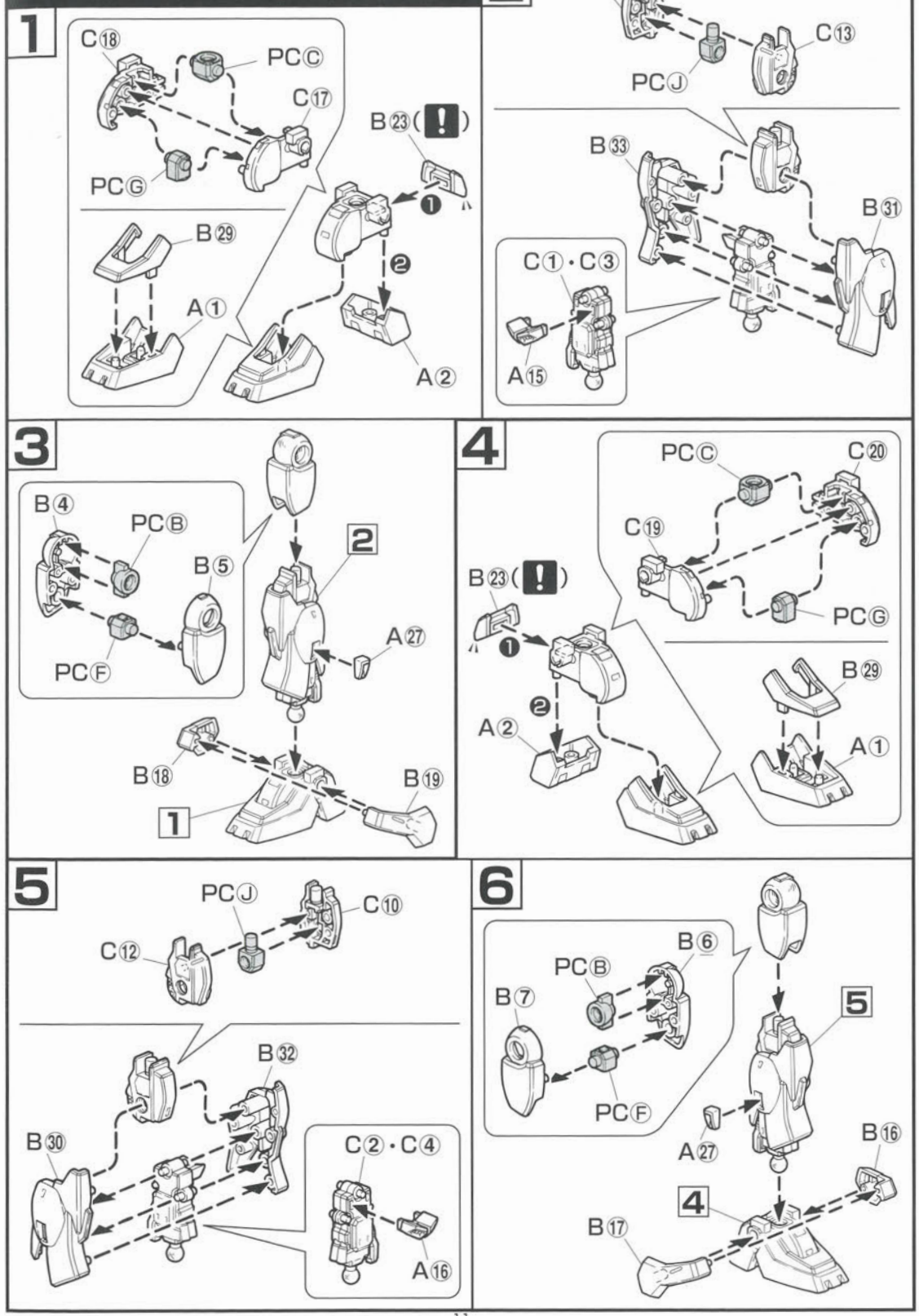
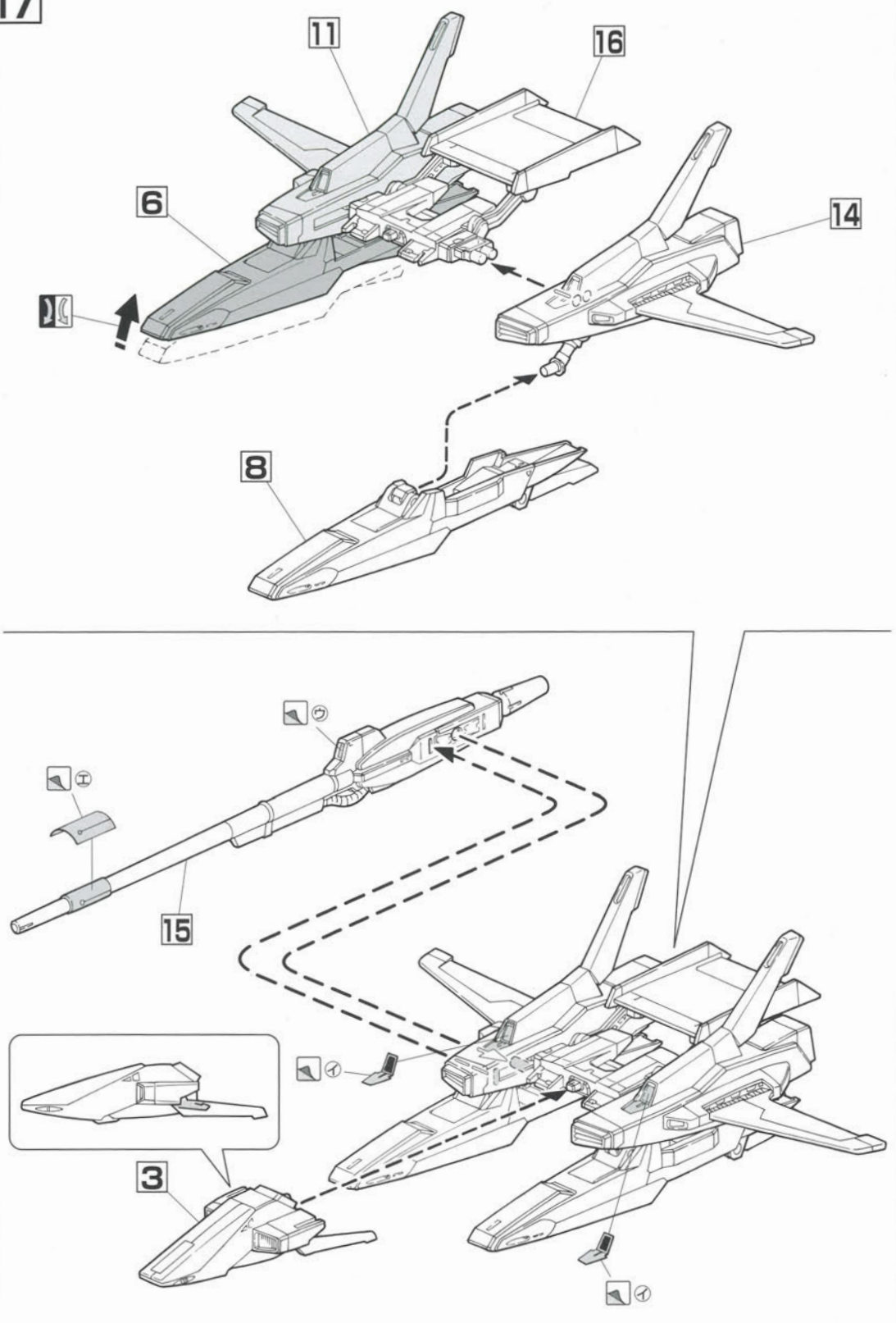
CG Work by YUJI KONNO (Jam)

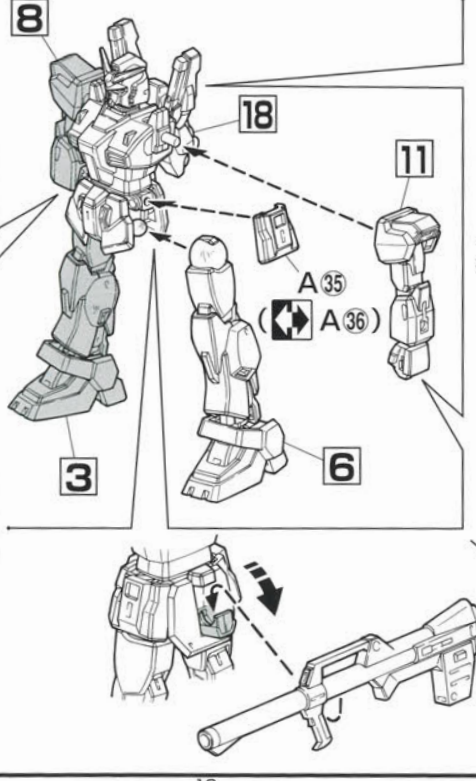
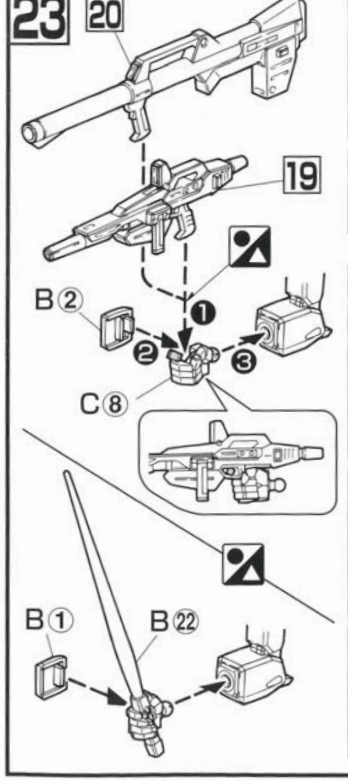
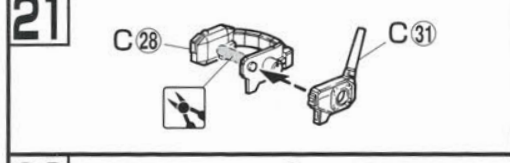
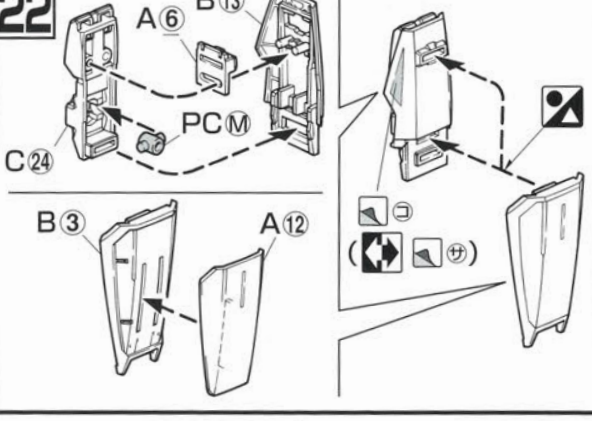
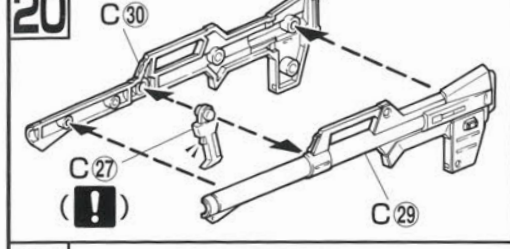
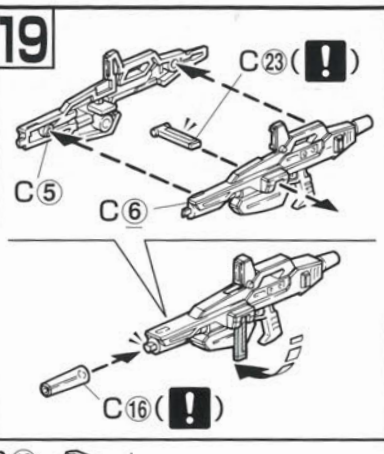
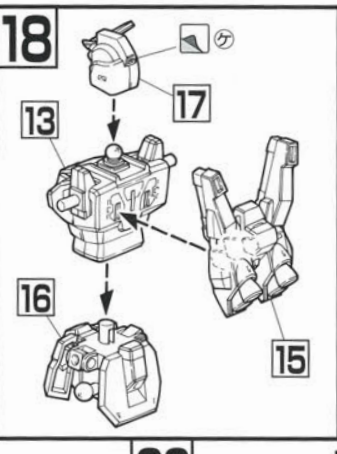
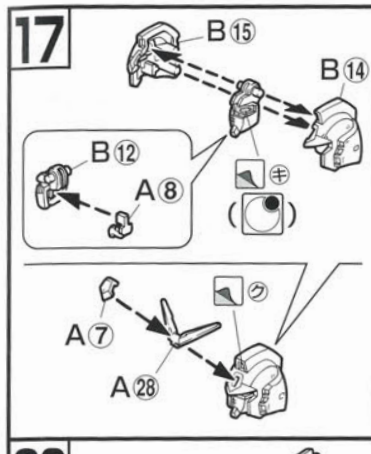
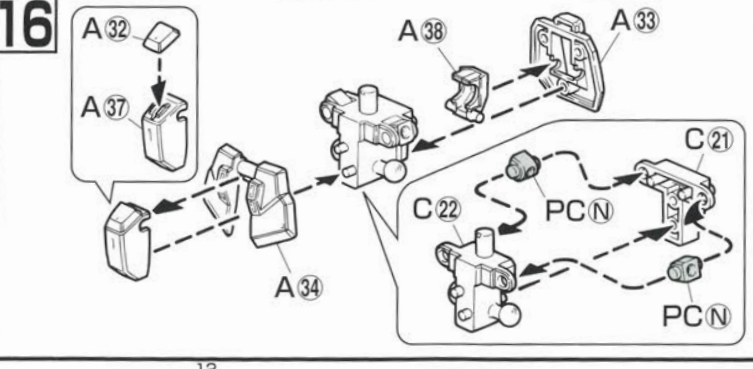
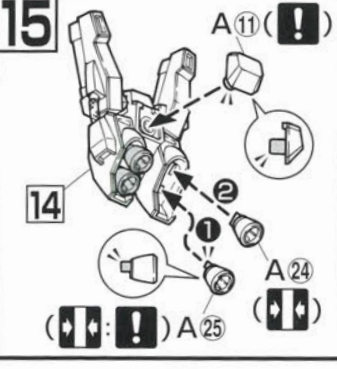
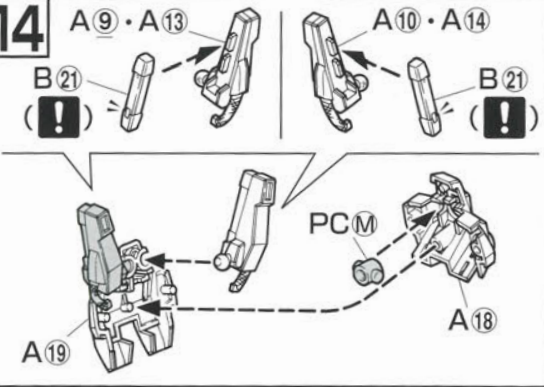
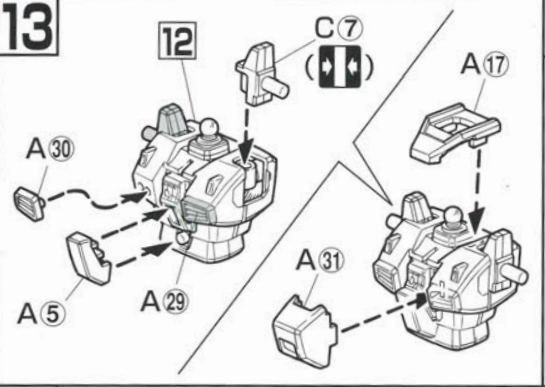
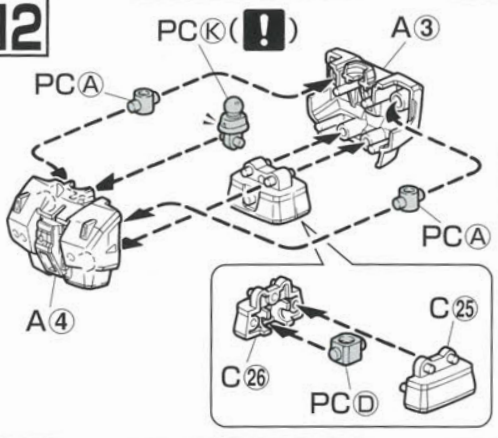
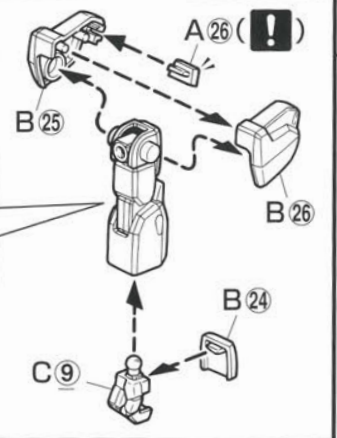
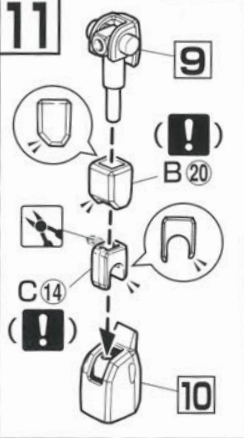
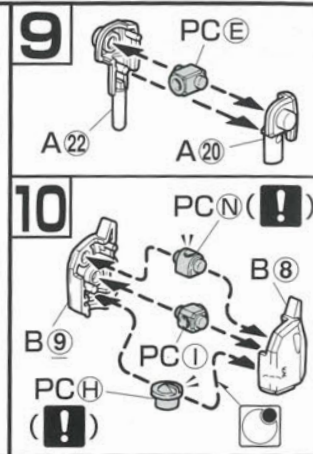
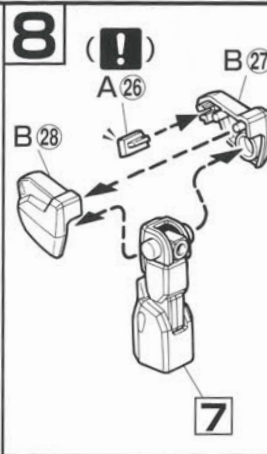
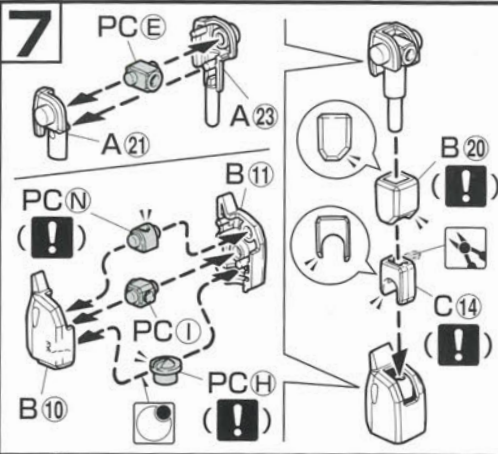
FXA-05D+RX-178 SUPER GUNDAM (スーパーガンダム) デザインワークス (コンセプトデザイン: カトキハジメ)



「スーパーガンダム」のリニューアルデザインにおいては、ガンダムMk-II及びGディフェンサーそれぞれのプロポーションやディテールはもとより、合体時における「Gフライヤー」及び「スーパーガンダム」においても、フォルムをくすくすことなく再現することが、重点的なポイントと言える。

illustration work
Drawn by SHINO MASANORI
CG Work by FURUKAWA TAKAYUKI

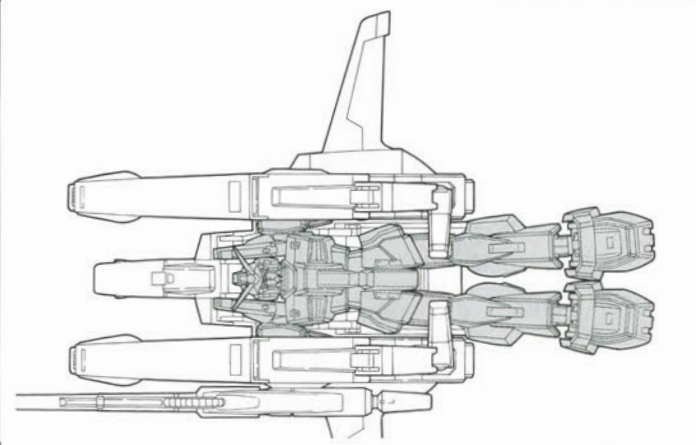
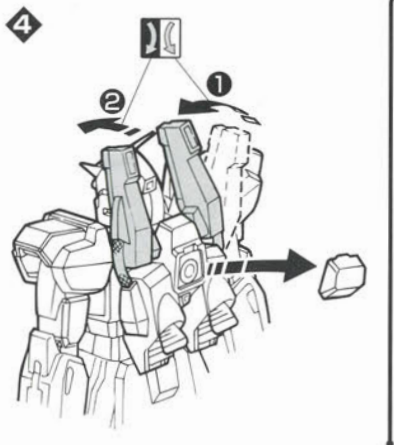
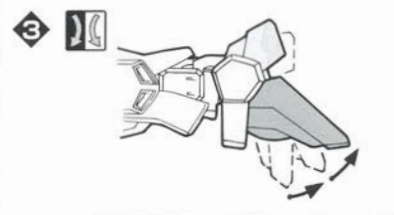
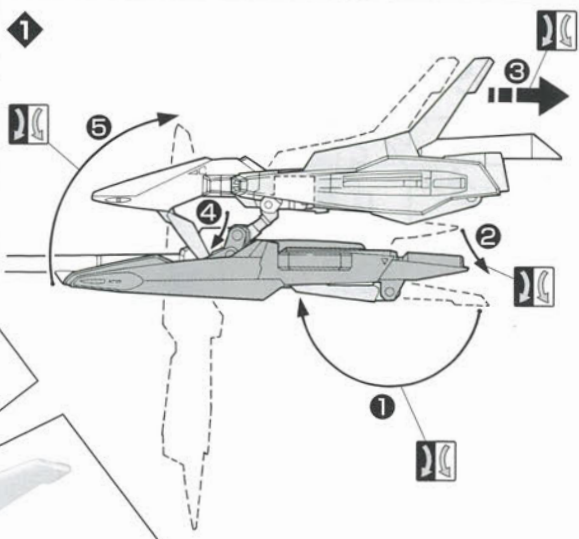
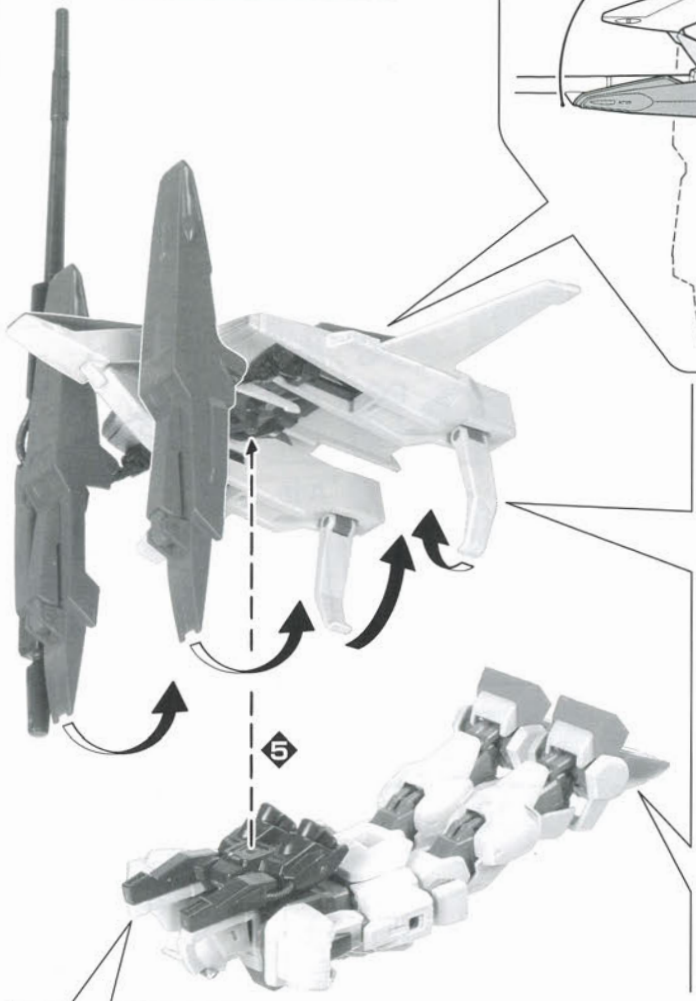




*C15は完成写真を参考に
に取り付けてください。

Gフ라이어への合体

ガンダムMK-IIの19 20 21 22は
本体からはずしておきます。



スーパーガンダムへの変形

